



平成 28 年 11 月 16 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

第 15 回 防災文化講演会の開催のご案内
テーマ：伝統をつなぐ—自然・災害の中で生きていく知恵—
(11 月 19 日 13 時 30 分より)

このたび、東北大学災害科学国際研究所は気仙沼市内にて、「伝統をつなぐ—自然災害で生きていく知恵—」をテーマに、第 15 回防災文化講演会を下記のとおり開催いたします。

当研究所は、平成 25 年 7 月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、同年 10 月には気仙沼分室（通称：気仙沼サテライト）を気仙沼市内に設置し、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでまいりました。防災文化講演会はこのたび 15 回目となりますが、今回も、市民の皆様との情報交流の機会として開催いたします。

ご多忙中と存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。取材にあたっての事前申し込みはご不要です。

記

1 日時： 平成 28 年 11 月 19 日（土）13 時 30 分～16 時 00 分（開場：13 時 00 分）

2. 会場： 気仙沼中央公民館
（気仙沼市魚市場前 1-1）



3. 主催： 東北大学災害科学国際研究所
共催： 気仙沼市

4. 趣旨：東北大学災害科学国際研究所と気仙沼市のさらなる協力関係の強化と情報交流のため、本研究所が推進する防災・減災に関わる最新の調査・研究の成果に基づく災害科学情報を、気仙沼市や近隣にお住まいの方々ならびに関連する活動を実施されている方々に向けて発信する。

5. 対象： 一般向け（参加申込 不要）

6. 次第：

- 13:30~13:35 開会の挨拶
- 13:35~13:50 報告①蝦名裕一（東北大学災害科学国際研究所・准教授）
「災害と歴史資料の保全・活用」
- （10分休憩）
- 14:00~15:00 報告②中村只吾（富山大学人間発達科学部・准教授）
「海辺集落の生活文化と災害—鮪立の歴史を中心に—」
- （10分休憩）
- 15:00~15:55 パネルディスカッション
「伝統をつなぐ—今日の鮪立と古館—」
パネラー：鈴木伸太郎氏（鮪立古館現当主）
中村只吾氏
蝦名裕一
- 15:55 閉会の挨拶

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 気仙沼分室
ワーキンググループ（担当・蝦名）
mail: kesenuma@irides.tohoku.ac.jp
tel: 022-752-2146